

令和3年度

県民総合体育大会 中学校大会 バスケットボール競技

兼 関東中学校バスケットボール大会 予選

COVID-19 感染拡大予防ガイドライン

## 1. 参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。(大会当日に書面にて確認)
  - ◇ 体調が整わない(例:発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合)
  - ◇ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触が認められる
  - ◇ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる
  - ◇ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該存在者との濃厚接触が認められる
- 出場校の選手、引率責任者等は、大会前2週間分の体調を【別紙1】健康チェック表及び参加同意書に記録し、健康管理を徹底すること。
- マスクを持参すること。(受付時や更衣時、移動等の競技を行っていない際や会話をする際には必ずマスクを着用すること。また、予備のマスクも準備すること。)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を徹底すること。
- 他の会場利用者、施設管理者、大会役員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。(介助が必要な場合を除く)
- 大きな声での会話や応援をしないこと。
- 感染防止のために施設管理者、主催者が定めた措置を遵守すること。
- 試合に関わる全ての者(大会役員、審判、指導者、選手)は、大会前2週間分の行動を、【別紙1】健康チェック表及び参加同意書(個人用)に記録し、保管しておくこと。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。
- 会場にて「いばらきあまびえちゃん」の登録をする。  
(いばらきアマビエちゃん登録のQRコードや案内を会場入口、受付に掲示する)

## 2. 選手、引率者等及び大会関係者の入場、受付に関して

- 試合会場への入場はベンチメンバー(引率責任者1名、コーチ1名、Aコーチ1名、マネージャー1名、選手15名)の19名以内とする。
- 各校の引率責任者を感染症対策責任者とし、コーチ、Aコーチ、選手の体調を把握する。引率責任者がチームメンバーの【別紙1】健康チェック表及び参加同意書(個人用)と【別紙3】行動記録表を保管すること。また、【別紙2】健康チェック表及び参加同意書(学校用)を、引率責任者がチーム受付に提出すること。
- 第1試合に出場するチームの受付時間は8時30分とする。第2試合以降に出場するチームの受付時間は、当該試合開始のおおよそ2時間前とする。
- 入場の際は、入り口に設置してある非接触型自動検温器で必ず検温を受けること。
- 健康チェック表及び参加同意書の記入に不備がある場合は、その場で確認(検温等)を行う。
- 手洗い、手指消毒を徹底すること。
- 試合会場に入場する保護者代表者は、【別紙4】健康チェック表及び参加同意書(団体競技保護者用)を当該試合予定時刻15分前にチーム受付に提出する。提出後、保護者代表者は提出人数分のIDカードを受け取る。チーム応援は試合後、退場するため、試合毎に【別紙4】健康チェック表及び参加同意書

(団体競技保護者用)を提出すること。

- チーム応援の人数は 20 名以内とする。チーム応援は試合ごとに入れ替える。入場・退場については大会役員の指示に従うこと。

### 3. 出場チームへのお願い

- 他校との交流を控えること。(更衣室や通路など接近せざるを得ない状況においてはマスクを着用し、会話は控えること)
- チームで出たゴミは全て持ち帰ること。
- 大会期間中、試合会場や宿舎等、全ての場所において選手と応援の保護者との接触を極力避けること。
- 試合前後に対戦チーム、審判等との握手はしない。対戦チームベンチへの挨拶を行う場合は、距離を確保して行うこと。
- 選手同士で手をつないだり、肩を組んだりして行う円陣やハイタッチ等は行わないこと。
- ベンチではマスクを着用し、大きな声での応援、会話は控えること。
- 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。トイレや手洗い場に必ず持参すること。
- 衣類は個人で管理し、タオルやボトルを共用しないこと。
- 会場内で食事をとる場合は、指示された場所を守り、できるだけ2メートル(最低1メートル)空くよう選手同士の間隔を取り、対面を避け、会話を控えること。
- 試合終了後は速やかに退場すること。スカウティングのために事前の来場及び、試合後の観戦は禁止とする。

### 4. 大会運営に関して

- 無観客での開催とする。会場に入場を認められた者には、受付にてIDカードを発行する。
  - 開会式は実施しない。第1日の第1試合前に開始式を行う。
  - 会場の出入り口等に消毒スプレーを設置する。
  - チームベンチは、できるだけ2メートル(最低1メートル)空け、選手同士が間隔をとれるようにする。
  - 新型コロナウイルス感染予防と熱中症予防の取り組みとして、決勝リーグの試合においてメディカルタイムアウトを実施する。
  - 大会期間中、選手や引率者等に体調不良が見られる場合、大会本部に申し出るよう入場時に確認を促す。
  - 手洗い場に「手洗いは30秒以上」、「マイタオル持参」の掲示をする。
  - 試合間にTO席及びベンチのアルコール消毒を行う。
  - 試合が終わったチームは速やかに退場するよう促す。
  - 閉会式は実施しない。簡略化した閉式行事を行う。
- 提出を求める【別紙2】健康チェック表及び参加同意書(学校用)、【別紙4】健康チェック表及び参加同意書(団体競技保護者用)、【別紙6】健康チェック表及び参加同意書(その他の関係者用)は、大会終了後、1か月を目安に大会事務局が保管・管理し、その後は適正に破棄する。

## 5. 大会開催時の体調不良者発生時の対応について

### ○ 入場時、受付時での体調不良者発生時の対応について

- ◇ 健康チェック表及び参加同意書の提出内容を以下のポイントで確認
  - ・発熱や風邪の症状等の有無
  - ・当日の検温記録、健康チェック表及び参加同意書の記入漏れの有無
- ◇ 確認ポイントにおいて症状や記入の不備がある場合は、入場、受付を取りやめる。記入の不備については、不足項目の確認（検温等）を行う。
- ◇ 体調不良者（例：風邪の症状、倦怠感、味覚や嗅覚の異常など）または症状が確認された者については、大会本部に報告の上、帰宅（または帰宿）を促し、各自医療機関を受診するよう伝える。

### ○ 大会期間中の体調不良発生時の対応について

- ◇ チーム内において、体調不良者（例：発熱、咳、咽頭痛、倦怠感、味覚や嗅覚の異常など）または症状が確認された場合は、引率責任者が大会本部に報告を行う。
- ◇ 大会本部は、緊急性も含め、救護所の看護師らの指示に従う。
- ◇ 診察の結果、新型コロナウイルス感染が疑われる場合は、速やかに医療機関や保健所の指示に従い、適切に対応する。

### ○ 症状があり、帰宅を促す際の対象者への案内

- ◇ 健康チェック表及び参加同意書に挙げられた項目の症状が続く場合、必ず最寄りの保健所、診療所等に報告・相談する。
- ◇ 症状が続かなくとも、弱い症状だと思う場合も同様、最寄りの保健所、診療所等に報告・相談する。

### ○ 感染の疑いがある場合の相談窓口

- ◇ 厚生労働省新型コロナウイルス相談窓口  
電話：0120-565653
- ◇ 茨城県新型コロナウイルス受診相談窓口  
電話：029-301-3200